

令和2年8月28日公表

農業経営統計調査 令和元年産 さとうきび生産費

【調査結果の概要】

令和元年産さとうきびの10a当たり資本利子・地代全額算入生産費（以下「全算入生産費」という。）は13万8,239円で、前年産に比べ1.0%減少し、1t当たり全算入生産費は2万4,928円で、前年産に比べ4.1%減少した。

図 主要費目の構成割合（10a当たり）

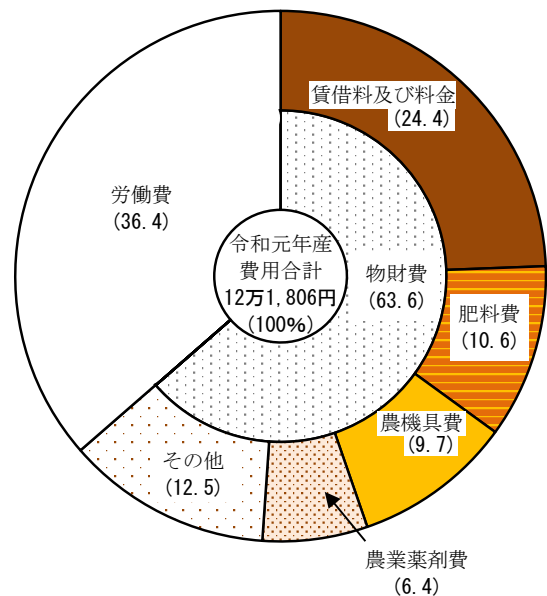


表1 令和元年産さとうきび生産費

区分	単位	10 a 当たり		1 t 当たり	
		実数	対前年産増減率	実数	対前年産増減率
			%		%
物財費	円	77,436	2.3	13,965	△ 0.8
労働費	円	44,370	△ 6.7	7,999	△ 9.6
費用合計	円	121,806	△ 1.2	21,964	△ 4.2
生産費（副産物価額差引）	円	121,783	△ 1.1	21,960	△ 4.2
支払利子・地代算入生産費	円	128,889	△ 1.6	23,242	△ 4.6
資本利子・地代全額算入生産費	円	138,239	△ 1.0	24,928	△ 4.1
収量	kg	5,546	3.2	-	-
1経営体当たり収穫面積	a	130.3	2.2	-	-

本調査は、2015年農林業センサスに基づく農業経営体のうち、世帯による農業経営を行い、販売するためにさとうきびを10a以上作付けした経営体（個別経営）を対象に実施した。

本資料は、農林水産省ホームページの「統計情報」の次のURLから御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukei/seisanhi_nousan/index.html#y7 】

◎ 調査結果の利活用

さとうきび経営安定対策の資料として利用されているほか、各種政策の実施状況の把握や効果の検証等の資料として様々な場面で利用。

◎ 累年データ

さとうきび生産費の推移

区 分	10 a 当たり 全 生 産 費	物 財 費	労 働 費	1 t 当たり 全 生 産 費	10 a 当たり 収 量	10 a 当たり 労 働 時 間	1 経 営 体 た り 収 穫 面 積	参 考	
								収 穫 面 積	収 穫 量
	円	円	円	円	kg	時間	a	ha	千 t
平成22年産	171,241	76,464	76,601	25,997	6,587	69.77	110.5	23,200	1,469
23	160,162	71,384	71,029	34,152	4,690	63.66	107.6	22,600	1,000
24	154,116	69,161	67,739	30,244	5,095	60.14	110.4	23,000	1,108
25	156,233	72,218	66,784	26,454	5,905	58.95	114.6	21,900	1,191
26	153,146	74,182	61,708	28,154	5,440	54.78	118.9	22,900	1,159
27	153,857	75,502	61,248	26,394	5,829	52.53	120.9	23,400	1,260
28	156,902	82,480	56,165	22,019	7,126	48.88	121.9	22,900	1,574
29	145,585	77,617	50,911	24,627	5,912	44.06	124.1	23,700	1,297
30	139,651	75,665	47,559	25,992	5,372	40.39	127.5	22,600	1,196
令和元	138,239	77,436	44,370	24,928	5,546	36.80	130.3	22,100	1,174

資料：農林水産省統計部「農産物生産費統計（個別経営）」、参考は同「作物統計」

【調査結果】

- 1 10 a 当たり全算入生産費は13万8,239円で、前年産に比べ1.0%減少した。
これは、作業委託の増加に伴う収穫作業時間の減少により、労働費が減少したこと等による。
- 2 1 t 当たり全算入生産費は2万4,928円で、前年産に比べ4.1%減少した。

表2 さとうきび生産費

区 分	単位	平成30年産	令和元年産		対前年産 増減率
			実数	構成割合	
10 a 当たり				%	%
物 財 費	円	75,665	77,436	63.6	2.3
うち賃借料及び料金	〃	27,673	29,780	24.4	7.6
肥 料 費	〃	15,118	12,949	10.6	△ 14.3
農 機 具 費	〃	8,484	11,857	9.7	39.8
農 業 薬 剤 費	〃	7,551	7,735	6.4	2.4
労 働 費	〃	47,559	44,370	36.4	△ 6.7
費 用 合 計	〃	123,224	121,806	100.0	△ 1.2
生産費（副産物価額差引）	〃	123,198	121,783	-	△ 1.1
支払利子・地代算入生産費	〃	130,957	128,889	-	△ 1.6
資本利子・地代全額算入生産費	〃	139,651	138,239	-	△ 1.0
1 t 当たり全算入生産費	円	25,992	24,928	-	△ 4.1
10 a 当たり収量	kg	5,372	5,546	-	3.2
10 a 当たり労働時間	時間	40.39	36.80	-	△ 8.9
1 経営体当たり収穫面積	a	127.5	130.3	-	2.2

【統計表】

1 生産費

(1) 10a 当たり

区 分	集 計 経営体数	物							
		計	種 苗 費		肥 料 費		農 業 薬剤費	光 熱 動力費	その他の 諸材料費
			購 入	購 入					
平成 30 年 産	108	75,665	4,598	1,441	15,118	15,066	7,551	3,966	307
令和 元	106	77,436	4,485	782	12,949	12,854	7,735	3,552	215
対前年産増減率(%)	△ 2	2.3	△ 2.5	△ 45.7	△ 14.3	△ 14.7	2.4	△ 10.4	△ 30.0

注：集計経営体数の対前年産増減率は、対前年差である。

区 分	労 働 費				費 用 合 計			
	計	家 族	直 接	間 接	計	購 入 (支払)	自 給	償 却
			労働費	労働費				
平成 30 年 産	47,559	43,789	46,449	1,110	123,224	68,697	46,998	7,529
令和 元	44,370	41,164	43,591	779	121,806	65,689	44,962	11,155
対前年産増減率(%)	△ 6.7	△ 6.0	△ 6.2	△ 29.8	△ 1.2	△ 4.4	△ 4.3	48.2

(2) 1 t 当たり

区 分	物							
	計	種 苗 費		肥 料 費		農 業 薬剤費	光 熱 動力費	その他の 諸材料費
		購 入	購 入					
平成 30 年 産	14,082	856	268	2,814	2,804	1,406	738	57
令和 元	13,965	809	141	2,335	2,318	1,395	641	39
対前年産増減率(%)	△ 0.8	△ 5.5	△ 47.4	△ 17.0	△ 17.3	△ 0.8	△ 13.1	△ 31.6

区 分	労 働 費				費 用 合 計			
	計	家 族	直 接	間 接	計	購 入 (支払)	自 給	償 却
			労働費	労働費				
平成 30 年 産	8,852	8,151	8,645	207	22,934	12,785	8,749	1,400
令和 元	7,999	7,421	7,858	141	21,964	11,846	8,106	2,012
対前年産増減率(%)	△ 9.6	△ 9.0	△ 9.1	△ 31.9	△ 4.2	△ 7.3	△ 7.3	43.7

単位：円

財			費							
土地改良 及び 水利費	賃借料 及び 料金	物件税及 び公課 諸負担	建 物 費		自 動 車 費		農 機 具 費		生 産 管 理 費	
				償却費		償却費		償却費		償却費
1,442	27,673	1,402	1,817	1,246	3,185	1,088	8,484	5,180	122	15
1,201	29,780	1,199	1,662	1,453	2,579	1,499	11,857	8,190	222	13
△ 16.7	7.6	△ 14.5	△ 8.5	16.6	△ 19.0	37.8	39.8	58.1	82.0	△ 13.3

副産物 価 額	生 産 費 〔副産物 価額差引〕	支 払 利 子	支 払 地 代	支 払 利 子 ・ 地 代 算 入 生 産 費	自 己 資 本 利 子	自 作 地 地 代	資 本 利 子 ・ 地 代 全 額 算 入 生 産 費 (全算入生産費)
23	121,783	65	7,041	128,889	4,174	5,176	138,239
△ 11.5	△ 1.1	△ 61.1	△ 7.3	△ 1.6	1.5	13.0	△ 1.0

単位：円

財			費							
土地改良 及び 水利費	賃借料 及び 料金	物件税及 び公課 諸負担	建 物 費		自 動 車 費		農 機 具 費		生 産 管 理 費	
				償却費		償却費		償却費		償却費
268	5,151	261	337	231	592	202	1,579	964	23	3
217	5,369	216	299	261	466	271	2,139	1,478	40	2
△ 19.0	4.2	△ 17.2	△ 11.3	13.0	△ 21.3	34.2	35.5	53.3	73.9	△ 33.3

副産物 価 額	生 産 費 〔副産物 価額差引〕	支 払 利 子	支 払 地 代	支 払 利 子 ・ 地 代 算 入 生 産 費	自 己 資 本 利 子	自 作 地 地 代	資 本 利 子 ・ 地 代 全 額 算 入 生 産 費 (全算入生産費)
4	21,960	12	1,270	23,242	753	933	24,928
△ 20.0	△ 4.2	△ 61.3	△ 10.2	△ 4.6	△ 1.7	9.5	△ 4.1

2 生産概況

区 分	1 経営体 当 たり 収 穫 面 積	10 a 当 たり 収 量	10 a 当 たり 労 働 時 間			
			計	家 族	直 接 労 働 時 間	間 接 労 働 時 間
	a	kg	時間	時間	時間	時間
平成 30 年 産	127.5	5,372	40.39	36.97	39.50	0.89
令和 元	130.3	5,546	36.80	34.04	36.15	0.65
対前年産増減率 (%)	2.2	3.2	△ 8.9	△ 7.9	△ 8.5	△ 27.0

3 経営概況（1 経営体当たり）

区 分	世帯員数	農 業 就 業 者 数			経 営 耕 地 面 積		
		計	男	女	田	畑	
	人	人	人	人	a	a	a
平成 30 年 産	2.4	0.8	0.6	0.2	240	6	234
令和 元	2.6	1.0	0.7	0.3	258	11	247
対前年産増減率 (%)	8.3	25.0	16.7	50.0	7.5	83.3	5.6

【調査の概要】

1 調査の目的

農業経営統計調査のさとうきび生産費統計は、さとうきびの生産コストを明らかにし、農政（さとうきびの経営安定対策、生産対策、経営改善対策等）の資料を整備することを目的としている。

2 調査の対象

本調査は、2015年農林業センサスに基づく農業経営体のうち、世帯による農業経営を行い、さとうきびを10a以上作付けし、販売する経営体（個別経営）を対象に実施した。

3 調査事項

さとうきびの生産活動を維持・継続するために投入した費目別の費用、労働時間等

4 調査期間

調査期間は、平成31年4月から令和2年3月までの1年間である。

5 調査方法

調査は、調査票を調査対象経営体に配布し、これに生産資材の購入、生産物の販売、労働時間、財産の状況等を調査対象経営体が記入する自計調査の方法を基本とし、職員又は統計調査員による調査対象経営体に対する面接調査の併用によって行った。

調査票の回収（決算書類等の提供を含む。）は、郵送、訪問、オンラインの方法により行った。

6 調査対象経営体数（標本の大きさ）

109経営体（うち、集計経営体数：106経営体）

なお、調査対象経営体は、鹿児島県及び沖縄県に所在する経営体となっている。

注：調査対象経営体のうち脱落経営体（調査の途中で何らかの事由によって調査を中止した経営体）、10a以上作付けしなかった調査対象経営体、収穫皆無経営体、非販売経営体及び過去5か年の10a当たり収量のうち、最高及び最低の年を除いた3年間の10a当たり平均収量に対する調査年の収量の増減収率が±70%以上であった調査対象経営体を除いた調査対象経営体を集計経営体としている。

7 集計方法

調査対象経営体ごとにウェイトを定め、全国農業地域別規模階層別等の集計対象とする区分ごとに次式により算出した。

この場合のウェイトとは、全国農業地域別収穫面積規模別に調査対象経営体数を当該年産の「さとうきびの経営安定対策加入申請者数（（独）農畜産業振興機構）」のうち、さとうきびの収穫（計画）のある個別経営体数で除した値の逆数としている。

(1) 1経営体当たり平均値

$$1 \text{ 経営体当たり平均値} = \frac{\sum_{i=1}^n w_i x_i}{\sum_{i=1}^n w_i}$$

x_i : 集計対象とする区分に属する*i*番目の集計経営体の*X*項目の調査結果

w_i : 集計対象とする区分に属する*i*番目の集計経営体のウェイト

n : 集計対象とする区分に属する集計経営体数

(2) 計算単位当たり生産費

$$\text{計算単位当たり生産費} = \frac{\sum_{i=1}^n w_i c_i}{\sum_{i=1}^n w_i v_i}$$

- c_i : 集計対象とする区分に属する*i*番目の集計経営体の生産費の調査結果
 v_i : 集計対象とする区分に属する*i*番目の集計経営体の計算単位の数量の調査結果
 w_i : 集計対象とする区分に属する*i*番目の集計経営体のウェイト
 n : 集計対象とする区分に属する集計経営体数

8 実績精度

1 t 当たり全算入生産費を指標とした実績精度を標準誤差率（標準誤差の推定値÷推定値×100）により示すと3.9%である。

9 用語の解説

- (1) 家族労働費とは、家族労働時間に「毎月勤労統計調査」（厚生労働省）の「建設業」、「製造業」及び「運輸業、郵便業」に属する5～29人規模の事業所における賃金データ（都道府県単位）を基に算出した男女同一単価（当該地域で男女を問わず実際に支払われた平均賃金）を乗じて評価したものである。
- (2) 自作地地代とは、その地方の類地（調査対象作目の作付地と地力等が類似している作付地）の小作料で評価したものである。
- (3) 自己資本利子とは、総資本額から借入資本額を差し引いた自己資本額に年利4%を乗じて算出したものである。

10 利用上の注意

- (1) 表中に用いた記号は、次のとおりである。
「－」 : 事実のないもの
「△」 : 負数又は減少したもの
- (2) この統計表に掲載された数値を他に転載する場合は、「農業経営統計調査 令和元年産 さとうきび生産費」（農林水産省）による旨を記載してください。

11 その他

この資料の詳細な数値はホームページに掲載（令和3年3月予定）するとともに、その後刊行する『農業経営統計調査報告 令和元年産 農産物生産費（個別経営）』に掲載する。
なお、公表した数値の正誤情報は、ホームページでお知らせする。

【 ホームページ掲載案内 】

- 各種農林水産統計調査は、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。
【 <https://www.maff.go.jp/j/tokei/> 】
この結果は、分野別分類「農家の所得や生産コスト、農業産出額など」、品目別分類「工芸農作物（さとうきび、茶など）」の「農産物生産費統計」で御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukei/seisanhi_nousan/index.html#7 】
- 本統計の累年データは、農林水産省ホームページ中の統計情報で御覧いただけます。
【 https://www.maff.go.jp/j/tokei/kouhyou/noukei/seisanhi_nousan/index.html#1 】

お問合せ先

◎本統計調査結果について

農林水産省 大臣官房統計部

経営・構造統計課 農産物生産費統計班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3631

（直通）03-6744-2040

FAX： 03-5511-8772

◎農林水産統計全般について

農林水産省 大臣官房統計部

統計企画管理官 統計広報推進班

電話：（代表）03-3502-8111 内線3589

（直通）03-6744-2037

FAX： 03-3501-9644



政府統計

政府統計の総合窓口

(e-Stat)

<https://www.e-stat.go.jp/>